

平成30年度 行政評価 施策カルテ

施策名	4 教育環境の充実
-----	-----------

施策主管課	学校管理課	総合計画記載頁	112ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	9 信頼される学校教育を推進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	信頼される学校教育が推進され、充溢した学校生活を送っています。
------	------------------------	----------------	------------------	---------------------	---------------------------------

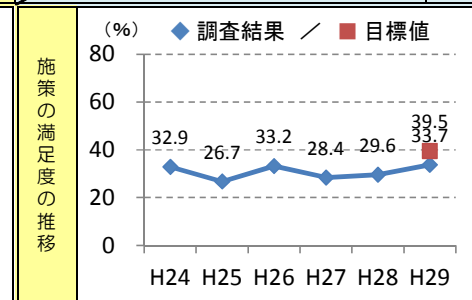
2 施策の取組状況

施策目標	児童生徒が、安全で快適な教育環境の中で学校生活をおくっています。
------	----------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価				
	指標1	耐震化率(学校校舎・体育館)	単年度目標値	85%	90%	95%	100%	100%			100%	A	指標2	施策の満足度(%)	調査結果	32.9%	26.7%	33.2%		28.4%	29.6%	33.7%	B
	現状値	実績値	85.0%	89.7%	95.6%	98.4%	100.0%	100.0%	目標値(H29)	39.5%	前年度からの増減			-6.2pt	6.5pt	-4.8pt	1.2pt	4.1pt					
	目標値(H29)	単年度の達成度	100.0%	99.7%	100.6%	98.4%	100.0%	100.0%	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B					
① 施策指標	指標1	現状値	実績値	/					/					【参考】 中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	/
		目標値(H29)	単年度の達成度												中核市平均		74.02%	77.47%	81.66%	89.70%	91.92%	96.45%	
															実績値		85.0%	89.7%	95.6%	98.4%	100.0%	100.0%	
	指標2	現状値	実績値	中核市での本市の順位		27位/41市中	27位/41市中	20位/42市中	21位/45市中	1位/45市中	1位/48市中												
		目標値(H29)	単年度の達成度	中核市平均		/																	
				実績値							/												
		中核市での本市の順位		/																			

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 逓減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※ 評価の考え方	① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
	② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
	③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割超が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]		概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> 東京五輪関連工事や国体関連施設等の県内大規模工事の影響を受け、建設需要が増加しており、今後ますます建設資材・機材の調達や技能労働者の確保が厳しい状況が見込まれる。 学校施設が一斉に更新時期を迎えつつある中、国では長寿命化計画の策定を要請しており、社会環境や学習形態の変化、財政状況を踏まえた計画的な対応が求められている。 熊本地震(H28)での被災状況を踏まえ、非構造部材の耐震化の推進や避難所としての機能の充実・強化がより一層求められている。 	市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境の充実については、市立小中学校の耐震化事業を優先して取り組んできた結果、平成28年度末の耐震化率が100.0%に達したことやトイレ環境の改善などにも積極的に取り組んだことにより、市民満足度は、前年度より向上したと考えられる。 	総合評価	83点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性の低い校舎、体育館等について、事業の優先化を図り、国の補正予算なども最大限活用し、耐震補強工事や建替え工事を実施したため、平成28年度末において、構造体の耐震化率は、100.0%に達し、安全で快適な教育環境の整備に寄与した。 				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H29事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	テクノポリスセンター地区における新設小学校の整備	○★	清原中央小学校の分離 新設小学校の整備・開校	・清原中央小学校 ・テクノポリスセンター地区 ・PTA、地域住民等	新設小学校建設工事の設計・施工	計画どおり	121,889	H28		当初の計画どおり進捗しており、今後は校舎新築工事や体育館実施設計等に着手することから、平成33年4月の開校に向けた全体スケジュールを踏まえ、着実に整備を進めていく。
2	テクノポリスセンター地区における新設小学校の開校準備(再掲)				新設小学校の開校に向けた準備	計画どおり	0	H28		新設小学校の開校に向け、学校や地域等と連携を図りながら、開校の準備を進める。
3	体育館整備事業 (⇒H29武道場整備なし)	○★	体育館改築による耐震性能の確保及び武道場の全校整備	・市内小中学校の児童生徒及び教職員 ・PTA、地域住民等	・体育館等建替工事の設計・施工	計画どおり	24,884	—		体育館等の老朽化に伴う整備については、安全性確保や機能の復旧などの物理的な老朽化に対応するため、施設の長寿命化を基本とし、劣化状況などを総合的に勘案しながら計画的に取り組んでいくとともに、具体的な整備計画などを盛り込んだ「学校施設長寿命化計画」の策定が早期に行えるよう検討していく。
4	校舎大規模改造事業	○★	経年により発生する学校建物の損耗・機能低下に対する復旧措置及び建物の用途変更に伴う改修	・市内小中学校の児童生徒及び教職員 ・PTA、地域住民等	大規模改造工事等の設計・施工	計画どおり	49,238	H12		喫緊の課題である学校施設老朽化対策の計画的な推進に向け、老朽度の高い41校について、平成29年度～30年度にコンクリートのコア抜き調査を実施し、詳細な劣化状況の把握を行いながら、施設の長寿命化を基本に整備順序などを検討していくとともに、具体的な整備計画などを盛り込んだ「学校施設長寿命化計画」の策定が早期に行えるよう検討していく。
5	旧一条中学校解体事業		一条中学校の移転完了に伴う旧一条中学校の解体	・地域住民等	旧一条中学校の解体	計画どおり	175,392	H29		一条中学校の移転完了に伴う旧一条中学校の解体事業については、引き続き円滑に完了するよう取り組んでいく。
6	教育用パソコン整備事業	○★	学校のICT機器(タブレット型パソコン等)の整備	市内小中学校の児童生徒及び教職員	教育用パソコン、関連機器の更新・保守管理	計画どおり	347,835	H18		ICT活用による分かりやすく理解を深める授業や児童生徒による主体的な学習を展開できるよう、引き続き、既存のデジタルテレビなどのICT機器に加え、タブレット型パソコンの導入整備に取り組んでいく。
7	教育情報システム事業(再掲)		学校のICT機器(教育用ネットワーク等)の整備と活用促進	市内小中学校の児童生徒及び教職員	・情報教育研修の実施 ・教育情報システムの運用 ・授業におけるICTの活用	計画どおり	390,435	H7		平成32年度から小学校で必修化されるプログラミング教育の推進や、児童生徒の情報モラルの育成を図る。また、教職員のICT活用指導力の一層の向上を図るとともに、タブレット型パソコン等のICTを効果的に活用した授業を推進する。さらに、ICTを活用した校務の効率化に取り組んでいく。
8	リフレッシュスクール事業	○★	ゆとりと潤いのある学習環境の確保	・市内小中学校の児童生徒及び教職員 ・PTA、地域住民等	・エアコンのリース・保守管理 ・トイレの洋式化 ・トイレのオゾン清掃	計画どおり	551,916	H20		ゆとりと潤いのある学習環境を確保するため、普通教室に設置した空調設備機器の適正な維持管理を実施するとともに、トイレの洋式化については、期間を定めて計画的に実施する。
9	施設改修事業		学校施設の安全性・機能性の確保	・市内小中学校の児童生徒及び教職員 ・PTA、地域住民等	老朽、劣化した学校施設の更新・改良	計画どおり	1,346,360	—		教育環境を充実する上で、学校施設の安全性、機能性の確保は必要不可欠であり、学校施設の長寿命化の観点からも適時の対応が必要であるため、引き続き、効果的かつ効率的な施設等の更新、改良に取り組んでいく。
10	バリアフリー化事業		障がいのある児童生徒の安全確保	・市内小中学校の身体に障がいのある児童生徒 ・PTA、地域住民等	多目的トイレ、階段手摺、スロープの設置	計画どおり	7,649	H11		宇都宮市やさしさをはぐむ福祉のまちづくり条例及びハートビル法に基づき、主に大規模な改修や改築に併せて、バリアフリー化の整備を進めていく。

4 今後の施策の取組方針

課題		今後の方向性	
		方向性	
<p>◆長寿命化による学校施設の長期利用を見据え、少人数指導などの学習形態の変化や学校施設を取り巻く環境の変化を踏まえた計画的な整備を行っていく必要があり、特にトイレの様式化については早期に取り組んでいく必要がある。</p> <p>◆学校施設については、災害時に児童生徒等の安全を確保するとともに、避難所として必要な機能を確保するため、窓ガラスの飛散防止対策や避難時の生活環境に配慮した施設整備に取り組んでいく必要がある。</p> <p>◆学校ICT化の推進については、児童生徒の情報活用能力や情報モラルの育成、さらにはICT機器を活用し、充実した授業ができる環境を整備する必要がある。</p>	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆学校施設の安全性確保や老朽化への対応、快適な学習環境の確保がますます求められており、非構造部材や付帯施設の耐震化、校舎・体育館の長寿命化、リフレッシュスクールなどの事業について、計画的に推進し、教育環境の充実を図っていく。</p>		
	<p>〈主要事業〉</p> <p>◆テクノポリスセンター地区における新設小学校の整備事業 平成33年4月の開校に向けた全体スケジュールを踏まえ、地域との調整や工事の進行管理を行いながら、着実に整備を進めていく。</p> <p>◆体育館整備事業 体育館等の安全性確保や機能の復旧などの物理的な老朽化に対応するため、施設の長寿命化を基本としながら、計画的に取り組んでいく。</p> <p>◆校舎大規模改造事業 喫緊の課題である学校施設老朽化対策の計画的な推進に向け、劣化状況の把握を行いながら、「学校施設長寿命化計画」の策定を進め、長寿命化を基本に整備順序などを検討していく。</p> <p>◆教育用パソコン整備事業 児童生徒の情報活用能力や教員の授業力の向上を図るため、これまでに整備したパソコンや学校間イントラネットなどを最大限に活用するとともに、タブレット型パソコンを中心とした新たなICT学習環境づくりに取り組んでいく。</p> <p>◆リフレッシュスクール事業 ゆとりと潤いのある快適な学習環境の確保を図るため、校舎・体育館のトイレの洋式化を計画的に推進していく。</p>		
	<p>〈その他個別事業〉</p> <p>◆施設改修事業 教育環境を充実する上で、学校施設の安全性、機能性の確保は必要不可欠であるため、引き続き、効果的かつ効率的な施設等の更新、改良に取り組んでいく。</p>		